

件名 **防災講演会** 12月08日(土) 10:00-12:00 愛宕供用会館

防災まちづくりがスタートをし、早速第2回目の講演会がありました。休日の中、50名の参加者が以下のような内容を聞いて防災への意識を高めることが出来ました。

第2回防災講演会

—もしもの時の地域の連携作り—

講師 幸坂 美彦 氏

(一社)いのちを守る防災危機管理協会理事

主催:愛宕地区自主防災組織連合会
(愛宕地区自治会連合会)

共催:いわくに市民活動支援センター

<講演のまとめ>

- ①災害への対応は、まず個人からは始まり、家族、隣近所、地域で臨むことが大事。
- ②地域内の連携が住民の命を守る。
- ③その為に地域内の連携を強める。
- ④そのことにより、地域内が強くなる。
- ⑤防災をやりながら強い地域づくりが出来てくる。

<講演のメモ>

- ①街歩きなどで自分の地域の弱いところを知ることが大事(脆弱性)。
- ②土地が低い、崩れやすいなど想定される災害の具体例は過去の苦い経験から想定する。
- ③対策が大事であるが自分だけは大丈夫と根拠のない楽観視が誰にもあることが大きな落とし穴となってくる。
- ④地域としては防災に対する気持ちを変えることが大事。
- ⑤情報の確認が取れない時は自ら電話で確認することが出来る。(0827-29-1111)
- ⑥災害が起きた時は何をするのか、事前に家族で集合場所など決めておくことも必要。
- ⑦何を事前に備えておくか(家庭での備え、隣近所の備え、自主防災組織の備え、地域の備え)。
- ⑧非常時の持ち出し品を決めておく。
- ⑨避難情報に従い避難をすることで命が守れる。(自主避難、避難準備情報、避難勧告、避難指示)



以上、前回に続いての内容でしたが、より具体的な内容で参考になりました。愛宕地区での自主防災組織は牛ノ谷、門前、尾津の3地区で組織されています。

防災組織の次なる行動として来年、1月24日に自分の地域を歩いてみて自分の地域の危ないところなどを知り、ハザードマップの作成を試みる事が決められています。

関心のある方は是非一緒に歩いて見てください。

